

業界初^{※1} 暗闇(0ルクス)でのカラー撮影を実現
監視用赤外線カラー暗視カメラを開発・発売

シャープは、業界で初めて^{※1}、暗闇(0ルクス)の環境下でカラー撮影が可能な監視用赤外線カラー暗視カメラ<LZOP420A>を開発、監視カメラシステムメーカー^{※2}など法人向けに販売します。

本製品には、独立行政法人 産業技術総合研究所(産総研)と当社が共同開発した赤外線カラー暗視撮影用撮像素子(CCD)^{※3}を搭載。近赤外光を照射することで、業界で初めて^{※1}暗闇(0ルクス)でのカラー撮影を可能にしました。また、高精細(1280×720画素)で滑らかな画像(30fps)が撮影できるほか、CCDを1個使用する単板方式を採用しているため、搭載カメラの小型化を実現しています。さらに、HD-SDI^{※4}の標準規格出力に対応しており、既存のカメラシステムからの置き換えが容易に行えます。

本製品は、昼夜を問わず、視認性の高い映像の撮影ができます。防犯用監視カメラはもとより、病院や介護施設などにおける患者の見守り用途など、幅広く展開してまいります。

品名	赤外線カラー暗視カメラ
形名	L Z O P 4 2 0 A
販売開始	2014年11月28日
月産台数	4,000台

■ 主な特長

1. 業界初^{※1}、暗闇(0ルクス)での高精細で滑らかなカラー画像の撮影が可能
2. CCD1個の単板方式を採用し、搭載カメラの小型化を実現
3. 標準規格HD-SDI^{※4}出力により、既存カメラシステムからの置き換えが容易

※1 2014年11月4日現在。単板(CCD 1個)方式でHD720(1280×720画素)/30fpsの撮影に対応する赤外線カラー暗視カメラにおいて、シャープ調べ。

※2 本製品は、(株)ナノルクスジャパンを代理店として販売します。同社は、産総研のベンチャー支援事業により設立された(株)ナノルクス研究所と業務委託契約を結び、カラー暗視撮影技術や製品の開発、販売を行っています。

※3 産総研が開発したカラー暗視撮影技術(2011年2月8日、2012年12月3日に産総研が発表)を応用し、産総研とシャープが共同で開発したカラー暗視カメラ用の撮像素子。(2014年5月14日に産総研が発表)

※4 High Definition Serial Digital Interfaceの略。ハイビジョン映像に対応した放送用信号規格の一つ。

【お問い合わせ先】

お客様：電子デバイス事業本部 センシングデバイス事業部 第二企画部 (084) 940-1225

■ 仕 様

形 名	L Z O P 4 2 0 A
撮 像 素 子	赤外線カラー暗視撮影用 1/3型130万画素CCD
走 査 方 式	プログレッシブスキャン
動 画 性 能	720p/30fps
画 角	96° (H)×69° (V)～ 31° (H)×23° (V)
外 部 出 力	HD-SDI / アナログ(NTSC/PAL)
電 源 入 力	DC12V
近 赤 外 照 明	一体型
サ イ ズ	φ 83×180mm(約970cc)
質 量	約940g



シャープ 赤外線カラー暗視カメラ

< L Z O P 4 2 0 A >